

令和3年度 日本老年看護学会生涯学習支援研修（基礎編）報告（北海道・東北）

開催日時 令和3年9月25日

開催形態 オンライン（ZOOM）

参加者数 46名（会員38名、非会員8名）

テーマ 認知症高齢者の治療とケアを多職種チームと共に～せん妄予防の観点から～
講師

1. 認知症診療におけるせん妄と薬物治療の問題

講師：佐藤 滋（医療法人社団清山会 みはるの杜診療所）

2. 認知症高齢者ケアを担う多職種チームにおける看護師の役割発揮

講師：大塚 真理子（日本老年看護学会 理事長・宮城大学看護学群）

話題提供 1. 病棟薬剤師との連携の実際

竹田 春美（東北大学病院 老人看護専門看護師）

話題提供 2. 認知症ケアチームの実践事例

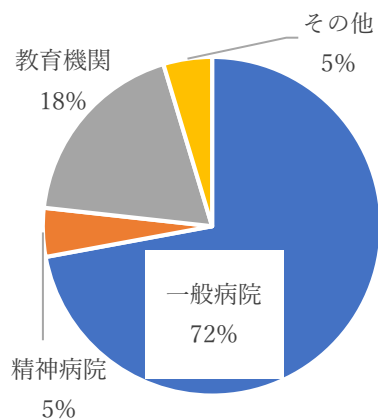
福田 智子（砂川市立病院 老人看護専門看護師）

運営担当 萩野（札幌保健医療大学）、出貝（宮城大学）

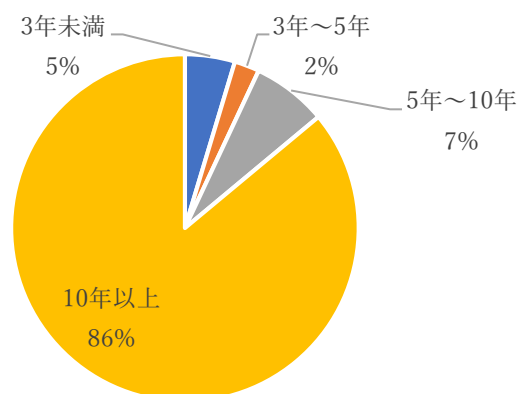
アンケート結果（回収数43名）

1. 回答者の概要

1) 勤務先及び経験年数



現在の勤務先



職務経験年数

2) 役職

一般看護職 12 (27.9%)、主任・師長 21 (48.8%)、講師・助教・助手 6 (14.0%)、代表取締役 1 (2.3%)、無回答 3 (7.0%)

3) 研修を知ったきっかけ（複数回答）

学会 HP33 名、他者からの紹介 4 名、学会メルマガ 2 名、その他 2 名

2. 研修方法に対する意見

1) 開催時期 良い 42 名、もう少し早い時期がよい 1 名

2) 研修時間 ちょうど良い 39 名、長い 2 名

意見：認定看護師更新ポイント対象研修に該当するような時間が良い

3) 受講動機（複数回答） テーマに関心があった 43 名、知人・上司の勧め 1 名

意見：認知症やせん妄ケアについて、より看護専門的な視点で深めたかったから。

居住地域の近隣でどのような看護が行われているのか知りたかった。

4) 研修参加費 ちょうど良い 40 名、高い 1 名、安い 1 名

意見：複数の研修が行われているようなので安価なほうが多くの研修に参加しやすい。

3. 研修内容に対する意見

1) テーマ 非常に興味がある 31 名、興味がある 12 名

[意見]

- ・ポリファーマシーについて再度勉強する機会が持てよかった。
- ・せん妄、多職種チーム、IPW について興味があったので参加しました
- ・多職種連携の考え方は、看護師同士の連携・協働にも活かせるものがありとても参考になりました。看護師同士の連携・協働を密にしていくことで、看護の力でできることはまだまだあるのではないかと考えるきっかけになりました。
- ・自院の課題にマッチしていた（同様 2 名）
- ・多職種連携、せん妄について知識を深めることができました
- ・急性期病院のため、せん妄リスクが高いので対応方法や認知症ケアチームとの連携について興味があったため
- ・チームで進めていく必要性を感じているので、学びになりました
- ・せん妄要因と、ポリファーマシーはいつも考えさせられる内容で病棟での課題で再度確認するために良かったです。
- ・多職種とどうせん妄予防に取り組むのかというイメージ
- ・多職種連携について IPE,IPW は新しい知見だった、参考になる

2) 期待通りか 期待通り 40 名、期待通りではなかった 3 名

[意見]

- ・一般病院でのせん妄予防ケアの工夫が素晴らしかった。
- ・チームの中での看護師の役割をあらためて考えることができました
- ・せん妄ハイリスク薬やポリファーマシー、多職種協働によるせん妄ケアについて知ることができた

- ・グループディスカッションが楽しかった
- ・認知症ケアチームで活動している看護師にとって、組織の認知症ケアやせん妄予防ケアについては、困っていることや悩んでいることが多いと思う。今回は、解決につながる内容であったと思いました。
- ・認知症ケアチームと該当部署との連携について参考になった
- ・基礎、概要が学べた
- ・せん妄の機序が理解でき、環境調整によりその人らしく治療が受けられることを再認識した。
- ・昨年度まで病院に勤務していた時、高齢者の多剤併用に関して、副作用等思うこともあり、認知症やせん妄の委員会での活動の中でなかなか減量や中止に関する決断が難しかったことから、病院内また病院外でのポリファーマシーをチームで活動されている看護師の方のお話しが聞きたいと思っていました。（発足の話があったため）薬剤師の方からのご講義を聞くことができたならさらに良かったと思いました。
- ・他の病院の多職種連携の様子を知れて良かった
- ・講義でも具体的な例がありわかりやすかった

3) 老年看護における看護師の生涯学習支援について 非常に重要 37 名、まあ重要 5 名

[意見]

- ・学び続けることが大切と思っています。
- ・定期的に開催を続けていただきたいです
- ・タイムリーなテーマが満載でありがたい
- ・会員以外の方も参加できるので良いと思います
- ・初めて参加させて頂いたので、一般スタッフにも伝えたいと思いました。
- ・貴重な研修が低価格で受講できて感謝します。
- ・勤務上 zoom などに参加できない看護師も多くいるようなので教育支援を受けられる環境づくりも必要だと思う。
- ・生涯学習は続けていかなければならないので研修の機会があるのは嬉しい
- ・今後も知見を新たにしていきたい

4) 今後このような研修に参加したいか

ぜひ参加したい 36 名、機械があれば参加したい 7 名

[意見]

- ・全国の方と意見交換のできる会、とても貴重だとおもいました。今後は zoom に慣れるようにしておきます。ありがとうございました。
- ・ZOOM 開催になり、参加しやすくなりました。 CNS・CN の活動の実際も聴くことができ、自身の目標になっています。

- ・コロナで勤務調整が難しいが、zoom で参加しやすかった
- ・受講料と時間が適当でよかった
- ・沢山の意見交換が自宅のできる環境に感謝します。
- ・zoom だと会場まで行く時間が短縮出来るのでありがたい

5) 今後、研修として取り上げてほしいテーマ、あるいは老年看護学会へのご要望

- ・転倒予防ケアの、工夫について。こんな工夫の成功事例など。
- ・認知症やせん妄ケアは、老年看護ではとても奥深い内容ですので、また違った視点に焦点をあてたものでもいいと思います。例えば、対応に苦慮した事例や課題など。また、専門看護師に焦点をあてたものも興味があります。
- ・認知症高齢者への治療に関する意思決定支援の実際
- ・認知症看護の他職種連携、院外連携について知りたい
- ・地域連携や退院支援について、特に認知症の方に関する研修を開催していただきたい
- ・認知症高齢者の退院支援と看護師の役割
- ・BPSD 予防ケアとして、工夫していること。
- ・身体拘束についてお願いしたいです。
- ・認定看護師の活動報告や悩みを話す機会が欲しい
- ・「地域で生活する認知症高齢者との関わり」「意思決定支援」「身体拘束について」
- ・地域、社会での高齢者の理解を深めてもらえる取り組み方

6) その他

- ・グループワークの時間が有意義だった。
- ・グループディスカッションではマイク音量が出ず、御迷惑かけてしまい申し訳ございませんでした。マイク音量が0になっておりました。最初の設定時、時間が過ぎていて確認できていませんでした。
- ・ファシリテーターの方が上手に意見を汲み取り、グループディスカッションの進行をしてくださったので発言しやすかったです。
- ・楽しい研修会でした。ありがとうございました。
- ・実践報告された先生たちの資料が頂きたかった。
- ・自身のスキルアップに活用したい。
- ・日本老年看護学会の研修会に参加しますと、必ず元気をいただき働く活力となります。